

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	1	森林・里山環境の保全
事業名	生活環境保全林整備事業					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	2	林業費
	目	1	林業振興費	細々目	9	菩提寺山市民の森維持管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
「菩提寺山市民の森」は約30haあり、市民の自然とのふれあいの場として親しまれている。面積も広大であり、管理は業者委託としているが、最近ではごみの不法投棄などの問題も起きている。	市民の森の適正な管理	菩提寺山市民の森維持管理費。給水施設保守管理、清掃、下刈り、受光伐・防火帯整備等。 委託先：(株)荏原製作所、山陽小野田市シルバー人材センター、カルスト森林組合	
活動指標		成果指標	
森林保全・保健機能の維持		受光伐・防火帯整備、水道施設維持管理	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
一式	一式	1.5ha	1.5ha
成果指標の到達度(B/A)			
100%			

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	795,900	766,565	財源(割内訳)	国庫支出金		
	役務費	31,000	28,720		県支出金		
	委託料	2,789,100	2,789,000		地方債		
					その他		
			一般財源		3,616,000	3,584,285	
合計		3,616,000	3,584,285	合計		3,616,000	3,584,285
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	889,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	2	農地環境の保全
事業名	農地・水保全管理支払金事業(共同活動)					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農地総務費	細々目	4	農地・水・環境保全向上対策事業
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	継続 経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
農業従事者の高齢化、担い手不足により耕作放棄地の増加、農村環境の悪化が懸念されている。そのような中で、農地・農村の持つ多面的な機能(例えば、水田は雨水を一時的に貯留し、洪水や土砂崩れを防いだり、多様な生き物を育み、また、美しい農村の風景は、私たちの心を和ませてくれるなど大きな役割を果たしている。)の維持・保全に取り組む必要がある。	農業者だけでなく非農業者も一緒に活動(用排水路の清掃活動やコスモスなどの植栽による景観形成活動、農地周りのゴミひろいなどの環境美化活動)を実施することで、地域の環境を守る意識の高揚が図られる。	農地周りの環境を維持・保全する活動に対し、その活動エリア内にある農地面積に応じ交付金を交付する。	
活動指標		成果指標	
集落協定数		活動対象農用地面積(保全されている農地)	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
21団体	21団体	679.51(ha)	679.51(ha)
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	250,000	184,000	財(源割内訳)	国庫支出金		
	負担金、補助及び交付金	5,573,000	5,502,174		県支出金	250,000	184,000
					地方債		
					その他		
			一般財源		5,573,000	5,502,174	
合計	5,823,000	5,686,174	合計	5,823,000	5,686,174		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	2,075,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課	題	改	善	策
特になし。				
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)		
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当	
その他				

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	2	農地環境の保全			
事業名	農地・水保全管理支払交付金事業(向上活動)								
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	4	農業総務費
	細目	1	農地総務費	細々目	5	向上活動支援交付金事業	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務			予算種別	新規	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農業用施設の老朽化が進んでいることから、これらの更新・長寿命化が強く望まれている。		既存の農業用施設の長寿命化を図ることで、周辺環境の保全につながり、労働環境の保全に寄与する。		活動組織内にある農業用施設の更新・延命化工事に交付金を交付する。	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
取組活動組織数			補修、更新工事施工箇所数(24年度分)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		100 %
15(組織)	15(組織)	計画 15(箇所)	15(箇所)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	200,000	122,000	財(源割内合訳)	国庫支出金		
	負担金、補助及び交付金	3,510,000	3,487,360		県支出金	200,000	122,000
					地方債		
					その他		
			一般財源		3,510,000	3,487,360	
合計		3,710,000	3,609,360	合計		3,710,000	3,609,360
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	2,075,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題		改善策	
すべての活動組織で事業に取り組みたいが、予算の制約もあり、新規採択が難しい。		活動組織との連絡を密にし、現状を説明し、理解いただいている。	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	2	農地環境の保全
事業名	農地制度実施円滑化事業(農地利用状況調査)					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業委員会事務局費	細々目	1	農業委員会事務局費
事務区分(根拠法令)		法定受託事務			予算種別	継続
						臨時

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
農地法の改正により市内全域の農地調査が義務づけられた。社会情勢や担い手不足により発生した遊休農地等の調査を行い、解消に向けた基礎データとする。	農地の状況を把握し、遊休農地の減少、有効利用の徹底を図る。	市内全域の農地調査を行い、農地の有効利用推進を行う。また、耕作放棄地は3段階に区分し、解消可能な農地については再生事業の導入や耕作希望者への斡旋を行う。また、所有者等に対する指導など、適切な遊休農地解消に向けた指導対策を講じる。	
活動指標		成果指標	
調査筆数		調査済筆数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
24,000筆	23,934筆	24,000筆	23,934筆
99 %			

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	職員手当	256,000	255,648	財源(割内訳)	国庫支出金	2,434,000	2,172,000
	共済費	219,000	218,066		県支出金		
	賃金	1,341,000	1,299,333		地方債		
	需用費	112,000	111,921		その他		
	委託料	693,000	693,000		一般財源	187,000	405,968
合計	2,621,000	2,577,968	合計	2,621,000	2,577,968		
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		1.5	3,020,560				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
関係する耕作放棄地全体調査の報告時期が1月末日のため調査時期の検討が必要である。	平成25年度から調査開始時期を10月から9月へ変更することを検討中
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	2	農地環境の保全
事業名	農地制度実施円滑化事業(農地台帳整備事業)					
予算費目	款	6	農林水産業費	項	1	農業費
	目	1	農業委員会事務局費	細々目	1	農業委員会事務局費
事務区分(根拠法令)		法定受託事務			予算種別	継続
						臨時

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
平成21年度に導入した農地台帳システムに農地利用状況調査のデータを入力する。農地法改正により、規定の農地台帳の内容が変更、入力項目が大幅に増加したものである。	農地台帳システムが稼働すれば、農業委員会と農林水産課のどちらでもデータの確認・入力及び修正が可能となるため、農地情報の共有化が図れる。	紙ベースのデータ及び毎年実施する農地利用状況調査のデータを入力している。平成24年度は7月から臨時職員1名を雇用し、入力を行っている。	
活動指標		成果指標	
台帳入力筆数		台帳入力筆数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
24,000筆	23,808筆	24,000筆	23,808筆
99 %			

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	共済費	199,000	156,772	財(源割内訳)	国庫支出金	1,224,000	1,055,000
	賃金	1,025,000	990,070		県支出金		
					地方債		
					その他		
合計		1,224,000	1,146,842	一般財源		91,842	
				合計	1,224,000	1,146,842	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.95	2,244,400				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
システム導入前後の農地転用、利用集積等のデータが完全でなく調査入力が必要がある。	紙ベースのデータと照合し、完全化する。

事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	3	海・河川環境の保全			
事業名	河川海岸保全事業								
予算費目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	3	環境衛生費
	細目	2	環境衛生経費	細々目	1	環境衛生経費	会計種別	一般	
事務区分(根拠法令)		自治事務				予算種別	継続	経常	

### 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
山陽地区において、昭和38年から毎年7月に、「河川海岸清掃大会」と称して全体参加者5千人の、大規模な清掃活動を実施している。	清掃活動を地域全体で取り組むことにより、住民全体の河川・海岸を愛護する意識の高揚が図られ、自然環境の保全につながる。また、市民のボランティア意識の醸成を図ることができる。	①参加者の作業・費用の負担軽減を図るため、収集車両の配車や車両借上げに対し助成を行う。 ②除草した後の草等の回収を行う。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
河川海岸清掃参加地区数		河川海岸清掃参加人数、収集トラック数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
5地区(有帆・厚狭・出合・厚陽・埴生)	5地区	参加者5000人	参加人数5,050人、収集トラック116台	

### 2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	清掃委託料	670,000	647,000	財(源割内合訳)	国庫支出金		
	泥土運搬委託料	450,000	280,500		県支出金		
					地方債		
					その他		
			一般財源		1,120,000	927,500	
合計		1,120,000	927,500	合計		1,120,000	927,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	889,500				

### 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

### 4 ACTION

課題	改善策
・現在は、各地区の自治会協議会が主体となって善意的に取り組んでもらっているが、今後も継続をしていただけるかどうか。 ・各地区共に清掃箇所が広範囲である。高齢化が進み、時期的に夏場の作業でもあるため、かなりきつい作業となっている。	・市としてできるパッカー車の出動・草の回収は、最大限の支援を今後行うことが必要。 ・両岸斜面の危険箇所や草の回収が難しい箇所など作業範囲の状況報告と、県土木建築事務所との協議が必要と考える。

事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当

その他
-----

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	8	自然環境の保全と活用	2	自然環境の保全と適正活用	3	海・河川環境の保全
事業名	遊水池維持管理事業(西の浜)					
予算費目	款	1	下水道事業費	項	1	下水道事業費
	目	1	下水道施設管理費	細々目	1	下水道施設管理費
事務区分(根拠法令)	自治事務				予算種別	新規 臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
西の浜遊水池は西の浜排水ポンプ場の調整池として位置付けられているが、通常は流量が少ないため、汚泥が堆積し易く悪臭の一因となっている。周辺には民家や保育園が隣接しており、周辺と調和した快適な住環境空間の創造を図るため、定期的に浚渫する必要がある。	浚渫を行うことで悪臭による住環境悪化を未然に防ぎ、且つ周辺と調和した快適空間の創造が図れる。	夏季の臭気や梅雨期の調整池機能について調査を行い、必要に応じて浚渫を行う。	
活動指標		成果指標	
浚渫回数		選択困難	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
1回	1回	数値化困難	
			成果指標の到達度(B/A)
			%

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	工事請負費	1,000,000	997,500	財(源割内訳)	国庫支出金		
					県支出金		
					地方債		
					その他	1,000,000	997,500
			一般財源				
合計		1,000,000	997,500	合計		1,000,000	997,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	296,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	D 数値設定があいまいである又は実績値を把握していない

4 ACTION

課題		改善策	
事業の方向性(一次評価)		事業の方向性(二次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他	事業の性質上、成果指標を定められない。		